

種名	<u>ミコアイサ</u> <u>Mergus albellus</u>												
													
分類	ガンカモ目 カンカモ科												
特徴	目先が黒く、パンダのような顔をした小形のアイサ類。ユーラシア大陸の亜寒帯で広く繁殖し、日本には主に冬鳥として普通に渡来する。北海道北部では主数が繁殖している。												
生活	越冬地では湖沼や広い川で生活し、時に海に出ることもある。数羽から数十羽の群れで見られることが多い。オスのエクリプスはメスにそっくりなので、渡来直後の群れはメスばかりのよに見えるが、季節が進むにつれ、白く美しいオスの姿が目立ってくる。アイサ類は潜水して魚を捕まえるという食性を持ったガンカモ科の鳥で、行動は海ガモ類に似ている。繁殖地では樹洞に営巣し、6～9卵を産む。												
声	冬期はほとんど鳴かない。オスは「フィー」という口笛のような声で鳴き、メスは「クワックワツ」と鳴くという。5月にノルウェーで、オスが「コッコッコツ」と低く鳴いて、ディスプレイをしているのを観察したことがある。												
見分け方	オスはほとんど全身が白く、顔などに特徴のある黒斑がある。メスは褐色で頬が白。カイツブリ類と見間違えることがあるが、体形やくちばしの形が違う。												
時期	(月)	1	2	3	4	-	-	-	-	-	10	11	12
その他	産卵期は5～9月 全長(L) 44cm 39cm 翼開長(W)61～70cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													